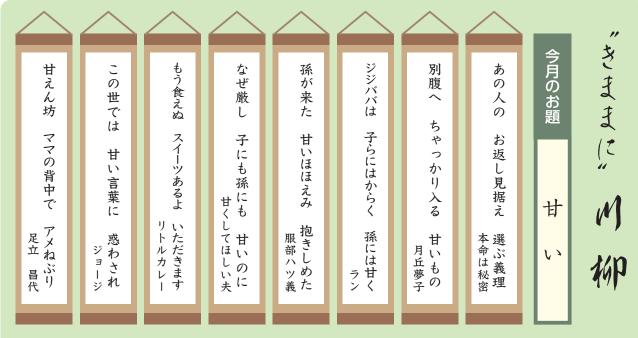
## **From Readers**

### 市民の皆さんと作るページ





#### 3月1日号の投稿募集

お題は「くしゃみ」です (1人1句)。 締め切りは2月15日(金)です。

#### ■応募方法

住所・氏名またはペンネームを明記し、直接または郵送、Eメールで広報広聴係へ。

〒509-5192 (住所不要) ☐ koho@city.toki.lg.jp

☎ № 1111 (内線185) / 🗚 🕏 7763

※応募多数の場合は採用されないことがあります。

# ではやねまん

#### 「ほやねさん」とは…

つらいときや悩んだとき、そっと寄り添って 「ほやね、ほやね」と話を聞いて、心を支え てくれる人

長男が幼稚園に入園し、一息ついた頃、長女と2人で土岐津町にある「杏カフェ」に通うようになりました。長女は、おもちゃや塗り絵を楽しみながら、私のささやかなご褒美の時間に付き合ってくれました。しばらくして次女も産まれ、3人育児の大変さや長女との関係に悩んでいた私は、気が付くとその胸の内を店長に話していました。すると、店長が「カウンターの奥でいつも2人のおしゃべりを聞いています。すてきなやりとりだなって思っていましたよ。大丈夫」と言ってくれました。私はその言葉を胸に「もうちょっと頑張ってみよう」と店を出たことを思い出します。

先日、1カ月ほど店が休業となり、私の心にはぽっかりと穴が開いたよう。あの元気な声、すてきな笑顔、子どもに向けられる優しいまなざしに「あぁ、私は店長から元気をもらいに杏カフェに行っていたのだな」ということを実感しました。

6歳、4歳、2歳の子どもたちに鍛えられ、妥協も手抜きも身に付いて私も強くなりました。それでもやっぱり店長の笑顔に会いたくて、「今週こそ杏カフェに行くぞ~」と日々の予定をこなしています。

私のほやねさん、アイスティーと共に今日もとびきり の癒やしの時間をありがとう。

#### ペンネーム モーニング娘(肥田町)



#### ほやねさんから一言

子育てに正解はありません。子どもを愛しているから悩むのです。どうせなら楽しく悩みましょう。そして子どもと一緒に笑いましょう。

杏カフェ 店長 渡部晴美さん

## 募集



掲載の「わたしのほやねさん」ストーリーの他、市内に実在する「まちのほやねさん」を募集します。あなたがこれまでに出会ったほやねさんを400字程度の紹介文と一緒にお寄せください。

#### 応募方法

住所・氏名またはペンネーム・電話番号を明記し、直接または郵送、Eメールでまちづくり推進課へ。 〒509-5192(住所不要) ☑ machisui@city.toki.lg.jp

☎每1111(内線186)/ FAX 每7763